

【取組分野・活動実績シート】

1. 基本情報

大学名・学部名・学科名	東京農業大学 国際食料情報学部 アグリビジネス学科		
研究室 代表者名	経営管理研究室 内山 智裕		
研究室代表者の専門分野	農業経済学・農業経営学		
研究室の学生数	約35名/年(学部3・4年生、大学院生を合わせて計80名)		
活動可能エリア	全国		
関連ホームページ	名称	URL	
	東京農大 経営管理研究室Instagram	https://www.instagram.com/nodai_keieikanri/	
	東京農大経営管理研究室でアグリビジネスを学ぶ(YouTube)	https://www.youtube.com/@user-agrikeieikanri/featured	

2. 地域課題解決に向けた取組分野

● 観光	(地域資源を活用した体験型教育プログラムの企画・実施(現地研修・フィールドワーク型プログラムの設計、地域資源の観光活用提案)
● 移住・定住・関係人口	(学生団体の地域交流活動支援を通じた関係人口創出の機会創出(例:学生団体「Be Hype」の地域連携活動支援)
● 農林水産業	(直売所・道の駅の経営診断(採算を可視化し改善提案)、担い手の「承継健診」、自治体向け農業ビジョン・基本計画の策定支援など。)
起業支援	(
まちなか再生	(
集落再生	(
環境	(
その他	(

3. 活動実績

【活動実績①】 (1)活動地 :高知県 四万十町 (2)活動内容: 2025年および2026年、学部生・大学院生・留学生(フィリピン、インドネシア、イタリア等)計14名を四万十町へ派遣し現地研修を実施。地域商社「しまんとドラマ」、教育NPO「しまんと分校」を訪問し、地域農産物の加工・商品化や地域資源を活用した教育・交流活動を調査。現地研修を踏まえ、学生がグループごとに地域資源活用の提案(継続型教育プログラム、国際的視点からの地域価値の再評価、体験型教育プログラム「しまんと夏期講習」等)を作成し、地域側へフィードバックした。 (3)活動による成果: 地域商社・教育NPOとの連携を通じて地域資源を活用した産業・教育の仕組みへの理解を深めるとともに、学生提案を通じて大学と地域が対話する機会を創出。取り組み内容は研究室YouTubeチャンネルでも発信し(https://youtu.be/I13iBN_9wBg)、教育活動の可視化と地域連携の意義の学内外への共有を図った。
【活動実績②】 (1)活動地 :秋田県 大潟村 (2)活動内容: ①大潟村村役場にて学生のしごと体験(インターン)の機会を提供していただいた。役場では地元の産業に関わる業務全般の体験および地元農家への視察を実施した。 ②大潟村出身の学部生が地域課題の解決を目的とした研究活動に2年間(2025年～2026年)継続して取り組むとともに、教員との共同研究を実施。大潟村の農業・地域の実情や課題に関する調査・分析を実施した。 (3)活動による成果: ①学部3年生2名(3日間)、大学院生1名(4日間)がインターンに参加し、職業体験の機会を得た。 ②研究活動を通じて、大潟村における農業政策上の課題と今後の方向性を整理し、自治体の農業政策に関する基本計画の策定に資する具体的な施策案を提供した。
【活動実績③】 (1)活動地 :三重県 鈴鹿市 (2)活動内容: 鈴鹿市地産地消推進協議会と連携し、地産地消の推進活動および学生の農業実習を実施。 (3)活動による成果: これまでに市内の農家・農業法人に延べ10名以上の学生を派遣。実習を実施し、学生が地域農業の現場や地産地消の取り組みへの理解を深める成果を得た。

4. 研究室卒業生の地方での活動状況

・長野県茅野市で新規就農。パセリ等の野菜生産に従事(古川竜生氏)。同市の新規就農支援団体「信州ちの就農LABO」とも連携し、研究室の学生が現地視察・交流を行っている。 ・栃木県真岡市で新規就農。畜産(肉牛の一貫生産)に従事。 ・埼玉県行田市の市役所職員として地域行政に従事。

5. 希望する活動内容

これまで研究室として取り組んできた、直売所・道の駅や担い手農業経営の経営診断(採算を可視化し改善提案)、担い手の「承継健診」(後継者不在経営体の承継可能性を簡易診断)、自治体向け農業ビジョン・基本計画の策定支援等の活動を、新たに連携する市町村においても実施していきたい。
